

にしおの

人と人がつながる ハズフォルニア

おっ!



「幡豆」という地名がなくなるのは寂しいよね——旧幡豆郡エリアを「ハズフォルニア」と名付け、SNSなどインターネットで情報を発信しながら、地域の活性化に取り組む若者たちがいます。

その一人、鈴木達朗さん（28歳／岡崎市出身）は昨年「株式会社WABSABI」を設立し、自然をテーマにイベントを企画するほか、ホームページ制作を含めたセールスプロモーション事業や、改修した古民家で民泊事業を営んでいます。鈴木さんは高校卒業後、農業

を体験しながらカナダやヨーロッパなどに1年ほど滞在し、帰国。2009年、現在の寺部町でカフェなどを経営する「オーシャン」の立ち上げに携わりました。シーカヤックやスタンドアップパドルボード(SUP)などマリンスポーツのインストラクターとして、前島などへのツアーガイドを手掛ける傍ら、農業に従事。「自然がいっぱい残る田舎で、ゆったり暮らしたい。気の合う仲間と楽しいことがしたい」と旧幡豆町に移住を決意しました。

上／(左から順に) 荒川さん、黒島さん、宮本さん、鈴木さん、幸恵さん、藤野さん、松澤さん
中／趣のある民泊施設。利用客の3割は外国人とか下／シーカヤックとSUPでいざ海へ



2015年、「この地での暮らし方や良さを伝えたい」と、自家発電で賄う野外イベント「Change The World三河」を吉良ワイキキビーチで開催し、2日間で約4000人が来場しました。昨年夏には、寺部海水浴場でSUPの「世界大会」を開催。約200人が参加し、吉良ワイキキビーチで「Cafe goon」を営む荒川太一さん(34歳／平坂町出身)が初代チャンピオンになりました。「世界大会」なんて、言ったもん勝ち。10年続けば、大きな大会になるよ。WABSABIのシェアオフィスで作業していた映像作家の松澤聡さん(30歳／大阪府出身)は笑いながら、そう教えてくれました。

取材した日に、出会ったのは、ハズフォルニアの居心地のよさに魅せられて移住してきた人ばかり。同じ価値観の仲間が緩くつながり、自然と集います。みんな楽しそうに、でも真剣にハズフォルニアの今を、未来を考えています。帰り際に鈴木さんは「ほどよい田舎で、『まち』との距離感がちょうどいい。日本で一番暮らしやすいんじゃないかな。観光としての高い可能性を生かして、自分たちにはできない楽しいことをどんどん仕掛けたい」と熱い思いを話してくれました。人と人がつながるハズフォルニアの今後注目です。(山崎豊)



SUP「世界大会」での1枚



心と体を整える

太極拳さくら

太極拳さくらは講座として始まり、3年前にサークルに発展しました。榎原武男・佐知子両先生の指導の下、50代〜80代のメンバーが和やかな雰囲気です。

練習はあいさつで始まります。立禅でゆっくり深く呼吸し、心を静かに整えます。次に両手を投げ出し大きく振って、体をリラックス。八段錦というストレッチ気功も行っており、第一段錦から第八段錦まで声を出して読むと口の運動にもなります。24式という太極拳の型を行うときには、足の運びや膝の向きや位置、骨盤の動きを先生が確認してください。ため、正しく動くことができます。

練習中、先生のユーモアのある話やりとりが面白く、つい笑ってしまいます。時には和気あいあいとランチを楽しむこともあります。

現在、新入会員を募集しています。太極拳はゆっくりと動くため、初心者や運動不足の方、スポーツが苦手な方でも大丈夫です。毎月第1〜3金曜日の午前10時〜11時30分に、矢田ふれあいセンターで練習しています。ぜひ見学にお越しください。

町 柴田 (☎59・5875) / 羽塚

このコーナーに登場してくれるサークル・ボランティア団体を募集しています。詳しくは、秘書課広報担当 (☎65・2159) へ。



けいと
中村 啓人くん
(肴町)

平成27年1月生まれ
体を動かすのが大好きな啓人くん。明るく元気に育ってね!



ひより
稲垣 日和ちゃん
(一色町)

平成27年1月生まれ
日和の笑顔でみんなが幸せ♡たくさん遊んで元気に大きくなってね。



みつき
梅田 湊月くん
(西幡豆町)

平成27年7月生まれ
お調子者の湊月。家族みんなを笑顔にさせてくれてありがとう♡



おとほ
鈴木 音葉ちゃん
(寺津町)

平成28年1月生まれ
ふてぶてしくてかわいなおっちゃん♪ いつも笑顔をありがとう。



かなな
手島 環奈ちゃん
(江原町)

平成27年7月生まれ
「かんちゃんもする〜!」ってお手伝い。いつもありがとうね♡



たいせい
田代 大征くん
(今川町)

平成27年1月生まれ
お外で遊ぶのが大好きな大征☆ 弟思いの優しい子に育ってね!!



みつき
金本 みつきちゃん
(鶴城町)

平成28年3月生まれ
ごはんをモリモリ食べる元気なみつき。尚兄ちゃんと仲良くな。



かなた
伊藤 哉太くん
(富山町)

平成28年1月生まれ
わんぱく坊主に毎日ヒヤヒヤ。これから泣いて笑って楽しもう!

キ
ツ
ズ
ア
ル
バ
ム

岩瀬文庫コレクション

再会親子銭独楽

(119-185)

岩瀬文庫学芸員 青木眞美

親子の別離と再会のお話を記した黄表紙で、寛政5(1793)年に刊行されました。狂歌師であり、戯作者であった唐来参和が著し、北尾政美が挿絵を描いた一冊です。登場人物(?)は、なんと銭の親子。両替店で銭の母・姉・弟は離れ離れになってしまいます。母と姉は今生の別れと悲しみますが、おじさんと遊びに行くと楽しい弟のいとけなさが、涙を誘うではありませんか。その後、それぞれ銭独楽や焼き印、錫杖などさまざまな使われ方をされ、各地を巡ります。一度出会ってはまた別れを経て、最後には「このままさび付いて離れますまい」と、ひと抱き合う感動の再会を果たします。

当時の硬貨の使い方を知る資料としても貴重な一冊です。写真の左側をご覧ください。弟はなんと風鈴の舌に使われています。軒先にぶら下げられている姿がなんともユーモラスです。縁側には、うちわを手にする美女が一人。「風鈴の舌打ちもせぬ暑さだ。ほんに今宵はチンともリンともいわぬ暑い夜だ」とつぶやいています。風鈴が鳴れば少しは涼しいものを…という恨み節が聞こえてきそうです。

江戸時代には、夏になると路上に風鈴売りが現れ、その涼しげな音は、夏の暑さを和らげる音として親しまれてきました。今年の夏は軒先に風鈴をぶら下げ、耳から涼を感じてみてはいかがでしょう。



本書は7月1日から開催される岩瀬文庫企画展「音」に出品します。どうぞご覧ください。

岩瀬文庫 (☎56・2459)

肩刊!! スポーツにしお

Vol.28

日本発祥の武道「少林寺拳法」



平成30年8月に、西尾市総合体育館で全国高等学校総合体育大会(インターハイ)の少林寺拳法競技大会が開催されます。今回は、その「少林寺拳法」について紹介します。

少林寺拳法発祥の地はどこかと問われると、有名な映画などの印象もあってか、多くの方が中国と答えるのではないのでしょうか。実は少林寺拳法は、昭和22年に香川県多度津町で創始された、日本発祥の武道です。今では世界中で親しまれ、今年7月には、アメリカのカリフォルニア州で4年に一度の世界大会が開催されます。

問スポーツ施設担当 (☎54・0002/総合体育館内)



少林寺拳法の大会は、対戦相手と組み合って勝敗を決めるのではなく、主に「演武」と呼ばれるものを披露して技の正確さやキレなどを採点し、その点数を競います。特徴的なのはその技で、空手のような突きや蹴りといった打撃技と、合気道のような豪快な投げ技や抜き技があり、まさに強さと美しさを兼ね備えた武道です。また、少林寺拳法の技法は守りを主体とする「護身術」であるため、力の弱い女性や子どもも上達することができ、家族みんなで楽しめる武道でもあります。こんな魅力的な少林寺拳法を、皆さんもぜひ始めてみてはいかがでしょうか。

西尾市のデータ

人口

	6月1日現在	前月比
男性	86,837人	+76人
女性	84,836人	+48人
計	171,673人	+124人
世帯数	62,993世帯	+156世帯

交通事故の状況

	人身事故 件数	死傷者	
		負傷者	死亡者
5月	57件	67人	0人
29年累計	284件	337人	0人

犯罪発生状況

	刑法犯総数	侵入盗	特殊詐欺
5月	69件	12件	0件
29年累計 (被害総額)	343件	57件	3件 100万円

消防の状況

	火災	救助	救急
5月	8件	9件	503件
29年累計	41件	19件	2,782件

今月の表紙

西尾が誇る特産品、一色産うなぎ。7月25日、8月6日の土用の丑の日に向けて、出荷の最盛期を迎えています。また、合併後初めての試みとして6月19日・20日に、一色産うなぎが市内全小・中学校の給食で提供されました。安全性やおいしさの秘訣(ひけつ)、関係者の思いをさまざま視点からお伝えします。

編集雑記

もうすぐ夏本番。7月14日から3日間、西尾祇園祭が開催されます。実はこの祭り、2つの祭りが合体しています。1つは伊文神社で行われていた祭礼を起源に約400年前から続く祇園祭。もう1つは昭和30年代半ばから商店街活性化のために始まった西尾まつりで、納涼夜店大売り出しや装飾照明コンクール、ちょうちんパレードなどが行われていました。伝統ある祭りが繰り上げられる名鉄西尾駅西側の市街地がにぎわい、熱くなる日がやってきます。(か)

スクールスマイルショット

School Smile Shot

●福地北部小学校

5月20日、汗ばむ陽気の中、運動会が行われました。「みんなで大玉送り」には、全校児童と保護者、地域の皆さんが赤白のチームに分かれて参加。よく跳ねる大玉を、息を合わせて運んでいました。



●福地中学校

5月26日、総合防災訓練が行われました。生徒たちは地震発生時の放送を合図に体育館へ避難した後、各班に分かれて仮設トイレやパティションの設置、応急処置の方法などを体験しました。



●室場小学校

5月31日、田植え体験学習が行われました。5年生35人が、先生の指導の下、田んぼアートの挑戦。泥んこになりながら作った田んぼアート「ホタル」は、8月に見頃を迎えます。



【西尾市役所】

URL (パソコン) <http://www.city.nishio.aichi.jp/>
(携帯電話) <http://www.city.nishio.aichi.jp/mob/>

E-mail nishio@city.nishio.lg.jp

- 本 庁 ☎0563・56・2111 (代表)
〒445-8501 西尾市寄住町下田22
- 一色支所 ☎0563・72・7111 (代表)
〒444-0492 西尾市一色町一色伊那路61
- 吉良支所 ☎0563・32・1111 (代表)
〒444-0596 西尾市吉良町荻原川畑20
- 幡豆支所 ☎0563・62・5511 (代表)
〒444-0798 西尾市西幡豆町仲田14-2



バーコード対応の携帯電話などで読み取ると「モバイル@西尾市役所」が閲覧できます。